

令和4年度 海部地区活動報告

海部地区現職教育研究現代文化と教育（図書館）部会

1 研究主題

「児童生徒の学びを支える学校図書館」

昨年度の研究で残された以下の課題を改善するために、本主題を設定しました。

- ・現在ある環境（施設・設備・人）での学校図書館環境の工夫
- ・さまざまな本に興味をもたせるための工夫
- ・問題解決の場や協働的な学びにおける図書の活用

2 集会における提案

今年度は、3年ぶりに全会員が参集しての研究集会が10月に行われました。蟹江町立蟹江北中学校の山田賢先生より、「主体的に本と関わる生徒の育成～本を身近なものとする環境づくりを通して～」をテーマにしたレポートの報告がされました。

研究実践として、次の2点について報告がありました。

- 生徒が図書館を身近に感じ、図書館へ足を運ぶ機会が増えるための図書委員

会での活動の工夫や環境づくり

- ・ポスター掲示や放送による本の紹介
- ・学級文庫の充実
- ・おすすめの本のPOP作製
- ・興味関心を高めるイベントの開催

- 授業における読書指導

- ・おすすめの本の紹介



- ・ P O P 作製

- ・ ビブリオバトル

成果としては、本に関する活動を取り入れて、きっかけを与え続けることで、本について話題にしたり、本の感想を教師に伝えたりする生徒の姿が見られるようになりました。つまり、生徒の本への関心が高まり、主体的に本と関わる姿勢を育むことができたことが挙げられました。

助言の先生方からは、「イベント活動やビブリオバトルへの参加を通して、情報をアウトプットするところへ学びを進めることができていた。また、図書館へ足を運ぶようになったり読書時間が増えたりといった生徒の変化は、素晴らしい実践の証であった。」と称賛されました。

3 還流活動

研修会では、会員が各学校における読書指導や利用指導の実情について報告をし、還流活動を行いました。その後、ワークショップとして牛乳パックを利用して、本立てを作製しました。前面に P O P を貼り、そのまま学級文庫や図書室等ですぐに使用できるようにしました。完成作品と余った材料は、各会員に持ち帰ってもらいました。「図書委員会の活動でも作製しよう」と、読書活動の推進にも一役買うことができました。

